

政策 目標	重点 課題	頁	主 要 事 業	所 管 部	事業費
1. 子どもの笑顔があふれる街					
子どもを生き育てやすい環境づくり					
	P4		ミニ児童会館施設設備整備	子ども育成部	283,429
	P5	○	放課後児童クラブの充実関連	子ども育成部	20,621
	P6	◎	旧真駒内緑小学校の再利用	子ども育成部	11,888
				子育て支援部	4,622
				都市計画部	8,555
	P7		地域子育て支援拠点事業関連	子育て支援部	89,662
	P8		私立幼稚園預かり保育運営支援事業費補助	子育て支援部	79,200
	P9		私立保育所整備費等補助	子育て支援部	2,956,398
	P10		さっぽろ保育ルーム運営支援事業	子育て支援部	160,650
	P11		幼稚園保育室運営支援事業	子育て支援部	27,648
子どもが健やかに夢や希望を持って育つ環境の充実					
	P12		札幌市立中高一貫教育校の設置	生涯学習部	1,578,070
	P13	○	心のサポーター配置モデル事業	学校教育部	27,617
	P14	○	教育支援センター設置事業	学校教育部	28,089

(単位:千円)

目的

すべての小学校区における
放課後の居場所づくり

事業内容

小学校の余裕教室等を活用したミニ児童会館の整備（ミニ児童会館9か所、放課後子ども館2か所）

- ・ 設計、工事費 259,756千円
- ・ 備品購入費 16,700千円
- ・ 事務費等その他 6,973千円

H25. 4. 1時点における公的な居場所未整備校区の状況

	大規模校 (12学級以上)	小規模校 (12学級未満)	合計 24校区
民間児童育成会のない 未整備校区	0校	9校	9校
民間児童育成会のある 未整備校区	12校(6校)	3校(2校)	15校(8校)

※カッコ内の数字はH25整備予定校数

※放課後子ども館整備予定2箇所については学校選定中のため未計上

	H24予算	H25要求	財政局概定	最終査定額
事業費	197,500	283,429	-	-
(うち一般財源)	(166,831)	(259,928)	-	-
査定の考え方等			【特定財源】	
			国庫支出金	23,501

<ミニ児童会館>

【教室改修】

二条小	中央区南2条西15丁目
屯田西小	北区屯田6条10丁目3-1
札幌小	東区伏古1条2丁目
伏古北小	東区伏古11条1丁目
元町北小	東区北31条東14丁目
厚別西小	厚別区厚別西3条1丁目
藻岩南小	南区川沿18条2丁目

【学校増改築】

南郷小	白石区本郷通4丁目南
手稲宮丘小	西区宮の沢3条2丁目

※南郷小は校舎改築に伴い再整備するもの

目 的

留守家庭児童対策のサービス拡充

事業内容

児童クラブや民間児童育成会の対象学年を6年生まで拡大

学年拡大（6年生拡大）

- ① 児童会館・ミニ児童会館運営管理費 5,913千円
登録児童数増（277人）による人件費の増
- ② 札幌市児童育成会運営委員会補助金 14,708千円
対象人数増（168人）に伴う補助金の増

【総要求額】

- ①児童会館・ミニ児童会館運営管理費
24年度：3,292,998千円 → 25年度：3,403,037千円
- ②札幌市児童育成会運営委員会補助金
24年度：252,362千円 → 25年度：267,038千円

(単位:千円)

	H24予算	H25要求	財政局概定	最終査定額
① 事業費	0	5,913	-	-
(うち一般財源)	(0)	(5,466)	-	-
② 事業費	0	14,708	-	-
(うち一般財源)	(0)	(10,499)	-	-
査定の考え方等			【特定財源】	
			①国庫支出金	447
			②国庫支出金	4,209

<参考>

児童クラブや民間児童育成会の対象学年をH23年度から段階的に拡大
 H23年度 3年生 → 4年生まで拡大
 H24年度 4年生 → 5年生まで拡大
 H25年度 5年生 → 6年生まで拡大

【児童クラブ開設時間延長（H24年度より実施）】

	現状	充実後
平日	放課後～18:00	放課後～19:00
土・長期休暇	8:45～18:00	8:00～19:00

～子どもの笑顔があふれる街～

旧真駒内緑小学校の再利用【新規】

子) 子ども育成部、子育て支援部
市) 都市計画部

(単位:千円)

目的

学校跡を活用した子育て環境の充実・強化と地域コミュニティの維持・向上

スケジュール

- H25 耐震・改修設計等
- H26 耐震・改修工事等
- H27 開設・貸付開始

	H24予算	H25要求	財政局概定	最終査定額
① 事業費	0	11,888	-	-
(うち一般財源)	(0)	(11,140)	-	-
② 事業費	0	4,622	-	-
(うち一般財源)	(0)	(4,404)	-	-
③ 事業費	0	8,555	-	-
(うち一般財源)	(0)	(6,514)	-	-
査定の考え方等			【特定財源】	
			①国庫支出金	748
			②国庫支出金	218
			③国庫支出金	2,041

①子どもの体験活動の場整備

[事業費11,888千円]

子どもの自主的な体験機会の提供と多世代交流・地域連携の場の整備

- ・基本・実施設計
(耐震・改修) 8,860千円
- ・事務費 3,028千円

②区保育・子育て支援センター整備

[事業費4,622千円]

乳児を対象としたグループ型保育ママと常設の子育てサロンを設置した南区保育・子育て支援センターの整備

- ・基本・実施設計
(耐震・改修) 3,761千円
- ・事務費 861千円

③真駒内駅周辺の地域連携先導事業

[事業費8,555千円]

①、②以外の部分について、地域連携事業の実施等を条件として民間事業者へ貸付

- ・基本・実施設計
(耐震・改修) 6,961千円
- ・事務費 1,594千円

(単位:千円)

目 的

子育て家庭の孤立化防止や子育てに関する不安の軽減など、安心して子育てができる環境づくり

	H24予算	H25要求	財政局概定	最終査定額
① 事業費	31,420	40,784	-	-
(うち一般財源)	(6,546)	(8,700)	-	-
② 事業費	35,672	48,878	-	-
(うち一般財源)	(17,836)	(24,439)	-	-
査定の考え方等			【特定財源】	
			①国庫支出金	32,084
			②国庫支出金	24,439

①児童会館子育てサロン運営

[事業費40,784千円]

児童会館99館で実施している子育てサロンのうち37館について週3回開催して常設化

- ・ 指定管理者による常設サロンの実施 36,656千円
1,264千円(週2日増加分) × 29館(うち新規17館)
- ・ NPOによる常設サロンの実施(補助金) 9,184千円
1,148千円 × 8館(うち新規3館)
- ※NPOへの移管に伴う指定管理者分経費の減 ▲5,056千円
▲632千円 × 8館

②拠点型常設サロンモデル事業

[事業費48,878千円]

NPOを含む地域の団体の活動拠点等を活用し、気軽に自由に交流や情報交換ができる常設子育てサロンを各中学校区単位に整備

- ・ 地域子育て支援拠点事業(ひろば型)補助金
- 賃借料あり: 43,904千円
2,744千円 × 16か所(うち新規12か所)
- 賃借料なし: 4,974千円
2,487千円 × 2か所(継続2か所)

～子どもの笑顔があふれる街～

私立幼稚園預かり保育運営支援事業費補助 子) 子育て支援部

(単位: 千円)

目的

一定の理由で家庭において保育できない児童が、幼稚園において保育所と同程度のサービスを受けられる環境の整備による、保護者の選択肢の増と待機児童の解消

	H24予算	H25要求	財政局概定	最終査定額
事業費	24,480	79,200	-	-
(うち一般財源)	(24,480)	(79,200)	-	-
査定の考え方等			【特定財源】	

事業内容

一定の基準を満たす私立幼稚園に対する
運営支援 [事業費: 79,200千円]

- ・ H24認定園分 **47,544千円**
通常型(12園): 235人
平日型(16園): 347人
計(28園): 582人

- ・ H25新規認定園分 **31,656千円**

【サンセット: 平成26年度末】

【補助要件】

認可保育所と同程度の時間、期間の預かり保育を実施する私立幼稚園

【補助対象】

保育に欠ける児童

【運営費補助単価(児童1人あたりの月額)】

	通常型	平日型
3~5歳	8,000	6,000

	通常型	平日型
開設曜日	月~土曜日	月~金曜日
開設時間	幼稚園の教育時間も含め、最低8:00~18:00	
休園日	土曜日(平日型のみ)、日曜日、祝日、国民の休日、12/29~1/3、各園が定める日(年間5日以内)	

私立保育所整備費等補助

子) 子育て支援部

(単位: 千円)

目的

増加する保育需要への対応や老朽化した施設の改善

事業内容

私立保育所の新築、増改築、分園整備等に対し補助を行い、保育所定員を1,210人増 [事業費: 2,956,398千円]

- ・ 新築費補助 (9園) 1,152,629千円
 - ・ 増改築補助 (6園) 1,018,965千円
 - ・ 私立認定保育所整備費補助 (6園) 755,704千円
 - ・ 分園整備費補助(2園) 22,500千円
 - ・ 分園整備建物賃借料補助(2園) 6,600千円
- 【サンセット: 平成26年度末】

スケジュール

- ・ 平成23年度: 定員1,190人増
 - ・ 平成24年度: 定員1,158人増 (予定)
 - ・ 平成25年度: 定員1,210人増 (予定)
- 平成26年度以降については、さっぽろ子ども未来プラン後期計画及び第3次新まちづくり計画に基づき、今後の保育需要等を考慮しながら、整備数を決定する。

	H24予算	H25要求	財政局概定	最終査定額
事業費	1,915,969	2,956,398	-	-
(うち一般財源)	(59,774)	(89,358)	-	-
査定の考え方等			【特定財源】	
			国庫支出金	2,569,040
			市債	298,000

私立保育所整備内訳

	規模(人)	整備箇所数	定員
新築費補助	60	2	120
	90	7	630
増改築費補助	60→90	1	30
	90→120	2	60
	120→150	3	90
私立認定保育所整備	30	4	120
	60	2	120
分園整備費補助	20	2	40
計		23	1,210

～子どもの笑顔があふれる街～

さっぽろ保育ルーム運営支援事業

子) 子育て支援部

(単位:千円)

目的

認可外保育施設の保育の質の向上や保護者の負担軽減

事業内容

一定の基準を満たす施設をさっぽろ保育ルームとして認定し、運営費の一部を補助

[事業費: 160,650千円]

【事業別要求額】

- ・ H24年度認定園分 110,376千円
(A型: 100,908千円、B型: 9,468千円)
- ・ H25年度新規認定園分 50,274千円

【補助対象】

保育に欠ける児童

【補助単価】

		A型	B型
補助単価	0歳児	72,000円/月	36,000円/月
	1,2歳児	39,000円/月	19,500円/月
	3歳児	15,000円/月	
	4歳児	12,000円/月	

【サンセット: 平成26年度末】

	H24予算	H25要求	財政局概定	最終査定額
事業費	61,780	160,650	-	-
(うち一般財源)	(47,407)	(92,484)	-	-
査定の考え方等			【特定財源】	
			国庫支出金	68,166

■さっぽろ保育ルーム(A型・B型)の主な違い

		A型	B型
設備		児童福祉施設の設備及び運営に関する基準第32条に定める設備に準じる	認可外保育施設指導監督基準に定める設備に準じる
面積 (1人あたり)		満2歳未満 3.3㎡ 満2歳以上 ・保育室等 1.98㎡ ・屋外遊戯場 3.3㎡	2歳未満児 2.475㎡ 2歳以上児 1.98㎡
保育士数		すべての職員	【初年度】 保育従事者の2分の1以上 【2年度以降】 保育従事者の3分の2以上
給食		自園調理	施設の判断による
保育料上限	0歳児	39,600円/月	
	1,2歳児	34,300円/月	
	3歳児	29,150円/月	
	4歳児	25,850円/月	

(単位: 千円)

目的

幼稚園の空き教室等を活用して行う保育事業の保育の質の確保や保護者の負担軽減

事業内容

一定の基準を満たす施設を幼稚園保育室として認定し、運営費の一部を補助

[事業費: 27,648千円]

【事業別要求額】

- ・ H24年度認定園分 9,984千円
(通常型: 9,984千円)
- ・ H25年度新規認定園分 17,664千円
(通常型: 9,576千円、平日型: 8,088千円)

【補助対象】

保育に欠ける児童

【補助単価】

年齢	通常型	平日型
0歳児	48,000円/月	40,000円/月
1,2歳児	26,000円/月	22,000円/月

【サンセット: 平成26年度末】

	H24予算	H25要求	財政局概定	最終査定額
事業費	5,477	27,648	-	-
(うち一般財源)	(5,477)	(27,648)	-	-
査定の考え方等			【特定財源】	

■幼稚園保育室の主な基準

		幼稚園保育室
設備		保育室※1、調理室、便所※2を設けること。
面積 (1人あたり)		満2歳未満 3.3㎡ 満2歳以上 1.98㎡
保育士数		【初年度】保育従事者の2分の1以上 【2年度以降】保育従事者の3分の2以上
給食		施設の判断による
保育料 上限	0歳児	39,600円/月
	1,2歳児	
開室日	通常型	月曜日から土曜日まで
	平日型	月曜日から金曜日まで

※1 事故防止の観点から、乳児の保育を行う場所と幼児の保育を行う場所は別の部屋とすることが望ましい。やむを得ず部屋を別にできない場合は明確な段差やベビー・フェンス等で区画する。

※2 給食を自園調理による提供を行わない場合は、必要に応じた温めや刻み食等必要な対応ができる機能を有していること。

目 的

生徒1人ひとりに対して、主体的で意欲的な学習を促し、資質や能力を最大限に伸ばさせる選択肢の広い教育が求められていることから、市立高校の特色化に加え、新たな選択肢として市立の中等教育学校を設置

事業内容

北海道札幌開成高等学校を全面改築のうえ、改編し、平成27年度に中等教育学校を設置

[事業費：1,578,070千円]

- ・ 学校新築費（校舎等の工事）
1,551,801千円
- ・ 札幌市立中等教育学校開校準備事業費
26,269千円

スケジュール

平成27年4月 札幌市立中等教育学校開校

(単位:千円)

	H24予算	H25要求	財政局概定	最終査定額
事業費	136,000	1,578,070	—	—
(うち一般財源)	(136,000)	(1,227,135)	—	—
査定の考え方等			【特定財源】	
			国庫支出金	186,935
			市債	164,000

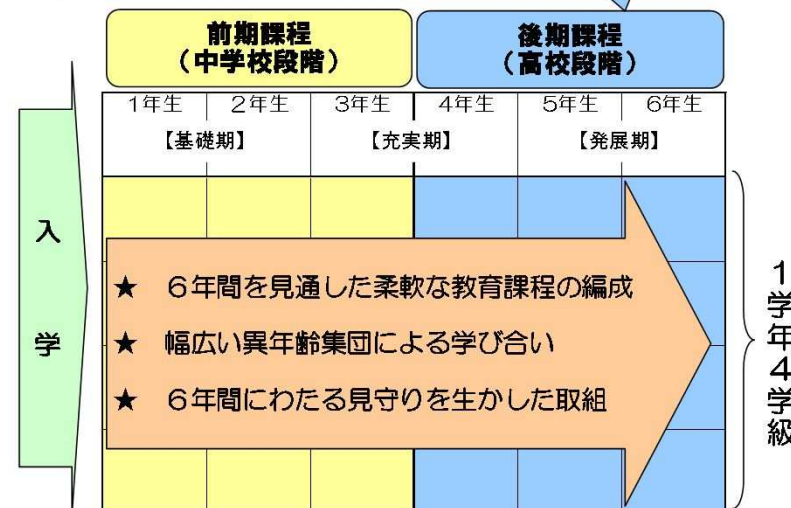
★ 札幌市立中等教育学校の基本的枠組み

募集対象

- 通学区域は市内全域
- 札幌市在住者を募集対象

後期課程には、幅広い進路選択に対応するため、単位制を導入し、幅広い教科選択を実現

入学決定
適性検査、作文、面接、調査書、抽選の中から選択し、適切に組み合わせて実施



(単位: 千円)

	H24予算	H25要求	財政局概定	最終査定額
事業費	0	27,617	-	-
(うち一般財源)	(0)	(27,617)	-	-
査定の考え方等			【特定財源】	

【総要求額】

24年度: 22,000千円 → 25年度: 49,617千円

目的

不登校や不登校の心配のある子どもへの対応として、本人や家庭、関係機関に対し学校からの働きかけをするため、退職教員や地域人材を「心のサポーター」として小中学校に配置し、子どもが元気に登校できる環境の整備

事業内容

平成26年度に全ての市立中学校に心のサポーターを配置することを目指し、心のサポーター配置モデル事業を実施 [事業費: 27,617千円]

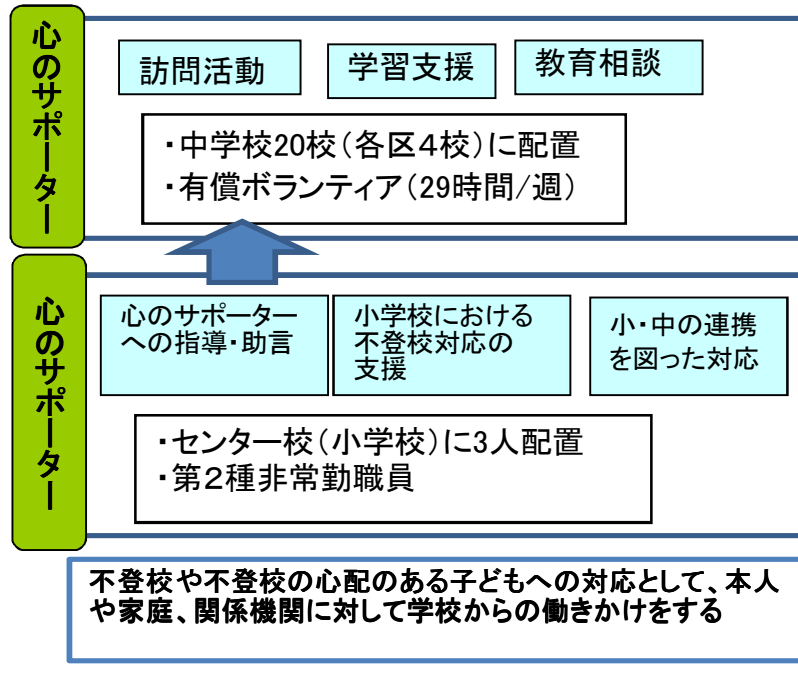
- ・心のサポーターの配置(20校) 16,240千円
 - ・心のサポーター主任の配置(3人) 8,046千円
 - ・事務補助員(1人) 2,074千円
 - ・事務用消耗品費等 1,257千円
- ※サポーターは中学校、主任は小学校に配置

スケジュール

- ・ H25 心のサポーターの配置 40校 (累計)
心のサポーター主任の配置 5人 (累計)
- ・ H26 心のサポーターの配置 97校 (累計)
心のサポーター主任の配置 10人 (累計)

心のサポーター配置モデル事業

マンパワーによる子どもへの支援の強化



(単位:千円)

目的

不登校の子ども一人一人の状況に応じた丁寧な支援体制の構築

事業内容

自分の「居場所」を学校環境にもつことが難しい不登校児童生徒の支援施設を設置

[事業費: 28,089千円]

- ・ 人件費 8,514千円
- ・ 施設維持管理費(賃借料) 9,000千円
- ・ 備品費、消耗品費 8,737千円
- ・ 利用児童生徒交通費 1,838千円

スケジュール

- ・ H24 制度設計・開設準備
- ・ H25 教育支援センター1か所設置
実証的検証・開設準備
相談指導教室の新設
- ・ H26 教育支援センター1か所設置

	H24予算	H25要求	財政局概定	最終査定額
事業費	2,500	28,089	-	-
(うち一般財源)	(0)	(28,089)	-	-
査定の考え方等			【特定財源】	

